

猫の爪は、武器として身を守り、食べ物を取るために必要です。そのため、爪とぎは猫にとって大変重要な行為です。

猫の爪の構造は人とは異なり、タマネギのように何層にもなっていて、真ん中に血管や神経があります。爪はその血管や神経を中心として層を重ねて伸びていき、外側の層は時間とともに固くなります。一番外側の固くなった層の使い古した爪をはがし、先端をとがらせて新しく柔軟性のある爪にするため、猫は爪とぎをします。

爪とぎの目的は、ほかにどのようなものがあるでしょうか？ まず、1つ目は自分の縄



70

猫はなぜ爪をとぐの？①

張りを主張するためです。猫の肉球には汗腺があるので、自分の縄張りにニオイをこすりつけ、爪の痕を残すことでマーキングを行います。2つ目はストレス解消。気持ちを落ち着かせるために行うことがあります。最後に、飼い主の関心を集めたいとき。自分をアピールするため、わざと行うこともあります。

猫の爪とぎは本能なので、この行為自体をやめさせることは困難です。さらに、やめさせることが大きなストレスになるかもしれません。とはいえ、猫がどこでも自由に爪

とぎをすると、家具や壁などに爪痕が残り、部屋中がボロボロになってしまうのも困りものです。家具や壁などで爪とぎをしたからと、猫を怒ってもあまり効果はなく、逆にストレスを与えてしまうことになりかねません。

猫と楽しく健康的に過ごすためにも、お気に入りの爪とぎ器を見つけ、爪とぎをしてもよい場所を作ってやりましょう。

次回は、爪とぎ器の選び方についてお伝えします。

(アニコム獣医師

堀井典子)